

リコーの最新マルチモーダルLLM：図表読解とオンプレミス運用の新基準

発表の概要と主な特徴



Qwen3.6-Ricoh-27B
(フラッグシップ)



Qwen3.5-Ricoh-9B
(軽量モデル)

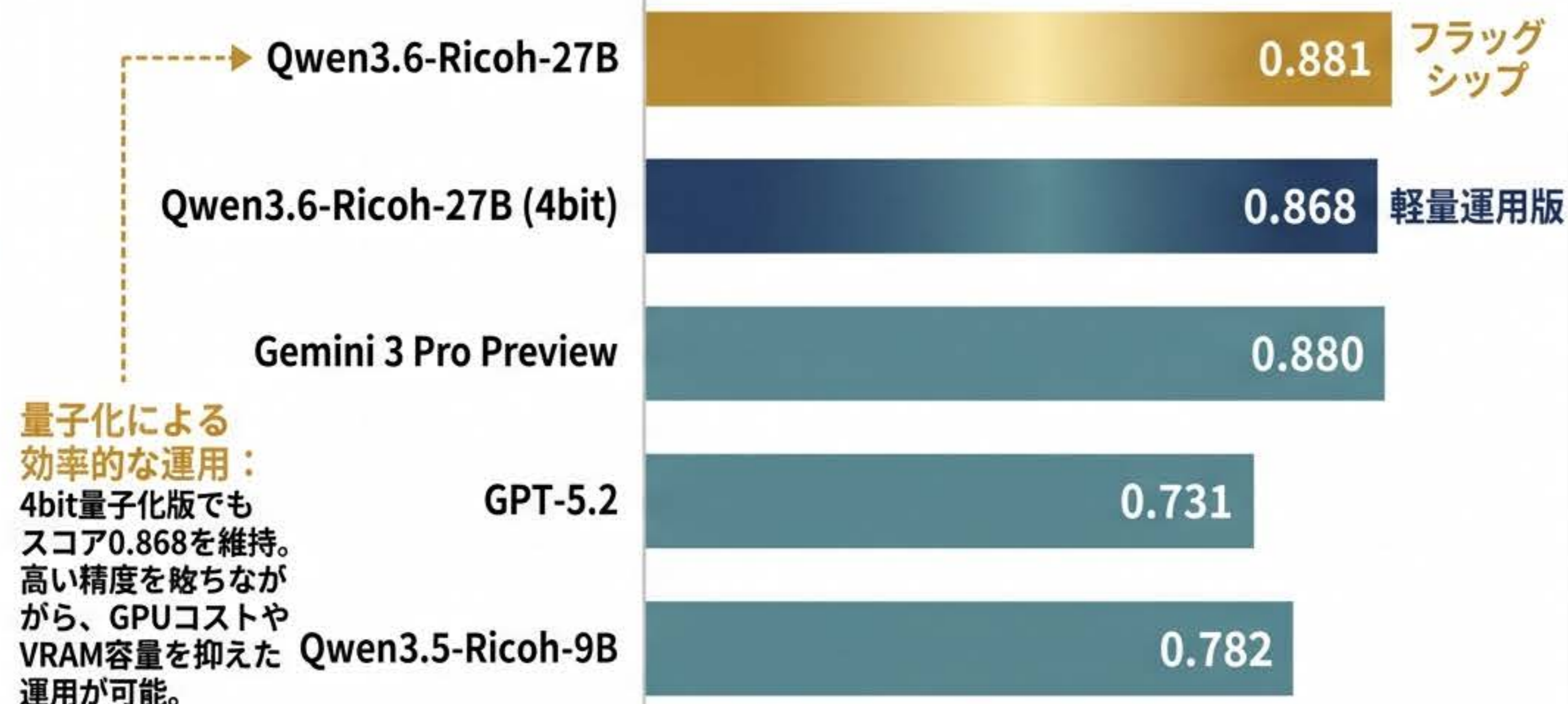
2つの強力なラインナップ

フラッグシップの「27B版 (270億パラメータ級)」と、軽量で導入しやすい「9B版 (90億パラメータ級)」の2機種を提供。

圧倒的な図表読解ベンチマーク

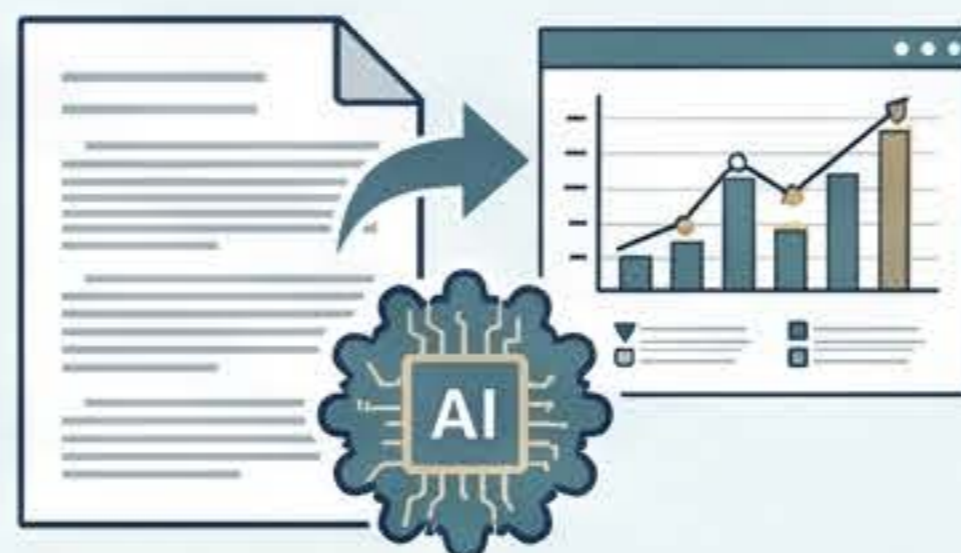
Gemini 3 Pro Previewに匹敵

自社開発ベンチマーク「JDocQA-Reasoning」で、Googleの有力モデルに迫るスコアを記録。



※JDocQA-Reasoningスコア：1.0満点。参考値は自社測定。

日本語×図表読解×多段推論



テキストだけでなく、複雑な図表を含む文書画像を理解し、複数の情報を統合して結論を導く「リーズニング」能力を強化。



GENIACプロジェクトの成果

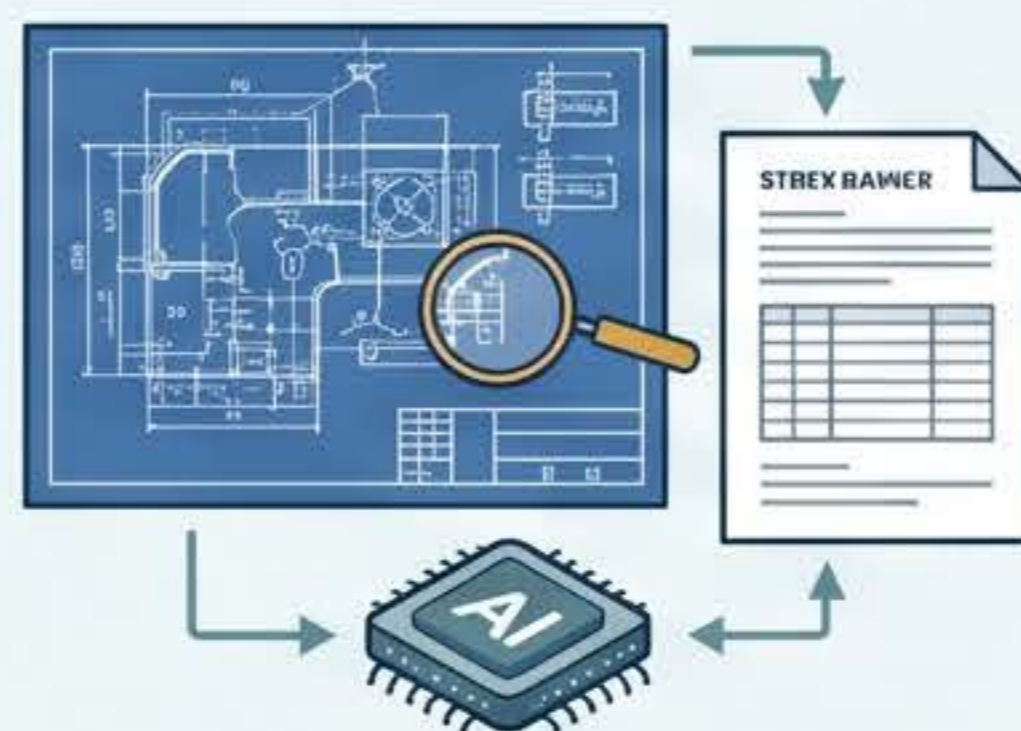
経済産業省とNEDOが主導する国内の生成AI基盤モデル開発支援事業「GENIAC」の第2期・第3期を通じて開発。

オンプレミス運用のメリットとユースケース



RICOH オンプレ LLM スターターキット

2026年6月下旬より、GPUサーバ1台で動作するノーコード開発基盤「Dify」プリインストールキットとして提供開始。



製造業：設計図と仕様書の適合確認

外部クラウドに送信できない機密性の高い設計図面から情報を抽出し、仕様との不整合を自動チェック。



金融・保険：約款の読解と要点抽出
大量の約款や報告書から、多段推論を用いて特定の条件やリスクを素早く特定。



公共・自治体：行政文書の処理
複雑な申請書類や行政文書の読み取り・分類を、セキュリティの確保された自社環境内で完結。

市場の評価と今後の展望



純国産勢との競争

NTTの「tsuzumi 2 Vision」などのフルスクラッチモデルに対し、海外ベースモデルを高度にチューニングする手法で独自色を発揮。



「誠実なアプローチ」との評

自社測定ながら、評価用データセットを無償公開し、第三者による検証を可能にした姿勢が専門メディアから評価されている。